



## 日消標ニュース

# 日本消防標識工業会

〒350-1302

埼玉県狭山市東三ツ木 335-3 トップ狭山 1-505

電話 04-2968-7237 FAX 04-2968-7238

平成 24 年 7 月 (通算 38 号)

### ●新会長挨拶

四月二十六日の総会で日本消防標識工業会の新会長に選任されました。創立三十周年という節目の年に若輩にもかかわらず会長を受けさせていただき身の引き締まる思いでございます。

そして、当会の三十年という歴史の重みを感じると共に、歴代会長を初めとして当会にご尽力いただき当会をここまで育てて下さった諸先輩の方々のご努力に改めて敬意を表したいと思います。

くしくもホテルニュージャパンの火災事故があった昭和五十七年に、当会は国民の生命・財産を守り災害防止のために各種標識板の製造、販売を通じて社会に貢献寄与することを目的として設立されました。

特に発足当初から取り扱ってきた蓄光式避難誘導標識については災害、停電時の道しるべとして自主認定品として普及して参りましたが、平成十八年に中輝度蓄光式誘導標識として財団法人日本消防設備安全センターの認定品として現在も年間十三万枚以上製造、販売され災害時の避難経路の確保に役立っております。

また、平成二十一年の消防法施行規則の改正後、注目を集めている高輝度蓄光式誘導標識についても財団法人日本消防設備安全センターの認定規定に沿って、会員各社で環境照度、紫外線強度に応じた様々な標識区分の高輝度蓄光式誘導標識の製造、販売を行い品質の向上と普及に努めております。

昭和五十七年の創立以来三十年間、国民の生命、財産を守るために消防標識の製造、販売に邁進してきた当会ではありますが、昨今、会員の減少、自主認定品の日本消防設備安全センターへの移行による収入の減少、一般社団法人の登記の問題等様々な課題を抱えております。

しかしながら、当会の強みの一つとして、材料メーカー、標識の印刷メーカー、全国に販売網を持つ販売店がバランス良くメンバー構成されていて、そして当会に参加されている会員各社の方々の絆が非常に強いことが挙げられると思います。

この結束力を持って、一つ、一つ課題をクリアすれば必ずや新しい時代に合った、必要とされる組織になっていくと確信しております。

若輩で微力ではございますが、当会の発展のために全力を尽くす覚悟でございますので、皆様方のご協力、ご支援を心からお願いを申し上げます。



日本消防標識工業会  
会長 山口 幸蔵

## ◎第31回定期総会及び設立30周年記念式典開催について

日本消防標識工業会は、去る4月26日東京四谷の「スクワール麹町」において、第31回定期総会と設立30周年記念式典を開催いたしました。

①定期総会は会員14社24名の出席をいただき、各議案について次の通り審議決定いたしました。

第1号議案：平成23年度事業報告承認の件

第2号議案：平成23年度収支決算報告承認の件

第3号議案：会長・副会長改選

第4号議案：平成24年度事業計画（案）承認の件

第5号議案：平成24年度収支予算（案）承認の件

上記1号、2号、4号、5号議案は、いずれも総会議案書記載の原案通り承認可決されました。

また、3号議案の会長・副会長改選は次の通り選任され就任いたしました。

会 長……株式会社東京化成製作所 代表取締役 山口 幸蔵

副会長……株式会社日本緑十字社 代表取締役 吉村 雄二

副会長……東洋防災株式会社 代表取締役 針ヶ谷 眞仁

また総会時、会長表彰として住友ベークライト株式会社 三浦直樹氏に表彰状と記念品が贈呈されました。



▲総会出席者

②設立30周年記念式典は定期総会終了後、消防庁予防課設備専門官兼課長補佐守谷謙一氏、東京消防庁予防部参事兼予防課長柏木修一氏、財団法人日本消防設備安全センター理事長長澤純一氏他来賓16名をお招きし、総勢40名で開催いたしました。

また、記念式典時に長年の功績に対して、黒田宏氏、丸山博敬氏、飯島健禮氏に感謝状と記念品が贈呈されました。



▲新会長挨拶



▲表彰



▲懇親会

## ◎一般社団法人 全国消防機器協会会長表彰受賞

平成24年5月29日(火)スクワール麴町において授賞式が開催され日本消防標識工業会からは、株式会社日本緑十字社島川俊二氏、日本カーバイド工業株式会社若田部克昌氏が長年のご苦勞に対し、同協会会長表彰を受賞されました。



▲中央左：株式会社日本緑十字社東京支店長 島川俊二様  
中 央：日本カーバイド工業株式会社営業部主事 若田部克昌様

## ◎ I F C A A 札幌国際消防・防災展の件

日本消防標識工業会では、I F C A A 札幌国際消防・防災展見学を企画し、星野理事を団長として10名参加し、平成24年6月22日(金)見学会を実施いたしました。会場である札幌コンベンションセンターには多数の消防関係者、一般見学者が来場し賑わっていました。



## ●理事会、各委員会開催状況

1. 第1回理事会 平成24年4月13日 (株)日刊広告社会議室  
第31回定期総会、設立30周年記念式典について
2. 第2回理事会 平成24年5月22日 (株)日刊広告社会議室  
①定期総会、記念式典総括について  
②工業会法人化について
3. 第1回広報委員会 平成24年6月18日 (株)日刊広告社会議室  
日消標ニュースについて
4. 第3回理事会 広報委員会に引き続き開催  
工業会法人化について

## ●財団法人消防育英会寄付金の件

日本消防標識工業会 様  
拝 啓

新緑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当会の運営に対し格別のご理解とご協力を賜りまことにありがとうございます。

この度は、東日本大震災消防殉職者遺児育英奨学基金に対して、貴重なご寄付を賜り、心より深く感謝申し上げます。

頂戴いたしましたご芳志は、東日本大震災の奨学生のために、有意義に活用させていただきます。

今後とも、消防育英会へのご指導及びご支援をよろしくお願い申し上げます。

敬 具

平成24年 5月10日

財団法人 消防育英会  
会長 高木 繁光

## ●海拔表示の件

国交省道路局企画課長から「設置方針（案）について」が出されました。事務局に資料を用意しておりますので、ご希望の方はご一報ください。

---

### 編集・発行責任者

■広報委員会：熊谷義裕（委員長）、星野照生（副委員長）、島川俊二、秀野漸、渡辺力、市川文男、斎藤次史